



市では「子ども・若者の元気・学び・育ちそして夢をみんなで応援するまち ひこね」を目指し、さまざまな子育て支援の事業を行っています。

今回の特集では、地域での子育てを応援する、ファミリー・サポート・センター（以下、ファミサポ）について紹介します。

☎【ファミサポについて】彦根市ファミリー・サポート・センター ☎・FAX 24-3920
【特集記事の内容について】
子ども・若者課 ☎ 49-2251 FAX 26-1768

特集 地域で子育てを応援します ファミリー・サポート・センター

「ファミサポ」ってなに？

ファミサポは、保育所や小学校、習い事などの開始前・終了後の預かりや送迎、保護者の外出の時や育児疲れでリフレッシュしたい時の預かりなど、育児の援助を受けたい人（依頼会員）と行いたい人（提供会員）が有償で助け合う会員組織です。

※湖東定住自立圏の事業として、彦根市、愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町の1市4町で取り組んでいます。

残業で保育所のお迎えが間に合わない。
買い物に行くとき子どもを預かってほしい。



育児の援助を受けたい人（依頼会員）



ファミサポ
アドバイザー

会員登録や活動前に行う会員同士の事前打ち合わせで、どちらの会員にも不安要素がないように、きめ細かくサポートします。

子どもと関わりたい。
困っている人を助けたい。



育児の提供を行いたい人（提供会員）

援助の依頼

依頼の連絡

サポート

料金の支払い
1時間 700円～（基本料金）

育児の援助を受けている人（依頼会員）にインタビュー

会員になったきっかけは何ですか？

2人目の子を出産したときに余裕をもって育児がしたいと思い、ホームページでファミサポを知って、入会しました。

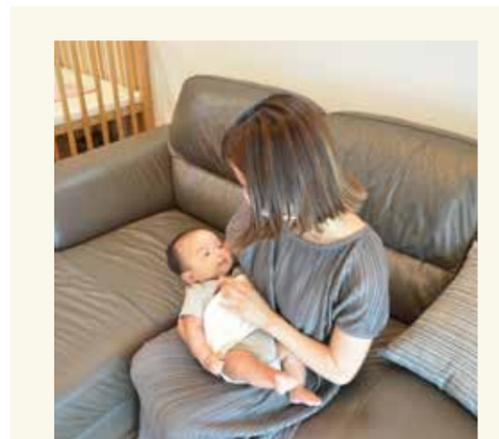
活動前はどんな気持ちでしたか？

他人に子どもを預けるという不安は若干ありました。でも、事前打ち合わせで提供会員の工藤さん（3ページ）とお会いして、優しい方だったので、その不安はなくなりました。

活動後のお子さんはどんな様子ですか？

1歳9か月になる上の子の預かりをお願いしているのですが、最初は泣いていて大丈夫かなと思いました。でも、活動後に工藤さんから遊んでいる時の写真を見せてもらい、大丈夫だと安心しました。

最近は、ニコニコ遊んでいると聞き、慣れてくれて良かった、成長してくれているのかなと思います、ホッとしています。



依頼会員 Aさん

（1歳9か月と3か月の子の保護者）

実際に依頼してみてくださいか？

預かりをお願いしている間に、しっかりと掃除をしたり、ご飯をつくらしたり、下の子と遊んだり、時にはテレビを見たりしてリフレッシュしています。リフレッシュしながら楽しく子育てができればいいなと思います。子どもが1人でも大変なことはあると思うので、子どもの数に関わらず、子どもがかわいそうなどと思わずに、会員になって積極的に依頼されたいと思います。

また、この辺りに職場の人以外の知り合いがいなかったのですが、工藤さんには地域のイベントに誘ってもらったりなど、地域の方とつながりができたことも良かったと思います。

▶提供会員のお子さん（写真左にも一緒に遊んでもらっています）



育児の提供を行っている人（提供会員）にインタビュー

活動前はどんな気持ちでしたか？

子どもと保護者の気持ちを1番に考えたい、2人の子どもを育てている自分なりのやり方で良ければ経験を活かしたいと思い、提供会員として活動することを決めました。

活動で困ったことや心配だったことはありますか？

私は特に困ったことはありません。保護者から離れて子どもが1番困っているのではないかと思います。子どもの不安が和らぐためにできることを考えています。最初はずっと抱っこでしたが、今では指差しをしながら家の中を探検してくれて、自分も一緒に探検しています。



提供会員 工藤 真由さん

（8歳と5歳の子の保護者）

※依頼会員にも登録されています。



▲活動の様子

実際に活動してみて心境の変化などありましたか？

心に余裕がなくなっている人の気持ちを和らげたい、サポートしたいという思いが強くなりました。

また、何をしてもかわいい子どもの姿に、預かり活動は、ほっこりする心の栄養剤のような時間にもなっていて、優しい気持ちになります。自分の子もこんな時期があったと自分の子の成長を感じ、自分の子にいつもより優しくなれます。

昔は近所の人に子どもを預けることがあったと思うのですが、今はほとんどなく寂しいです。依頼会員の方とは、ぬくもりある祖父母に預けるように、気軽に預けられる関係でありたいと思いますし、これからも続けたいと思っています。